



三款の都立本会でございますが、事務費、財産費、
 奉養費等の補助金とほつてあります。三百三十二万四千
 円と見込んであります。又四款の繰入金は一級合計から
 二百五十万と予定してございまして、四十四年度は二百
 万とございまして、又五款の繰越金でございますが、
 本年度繰越金としまして百一十七万と見込んでござい
 ます。又六款の諸収入におきまして、預金利子、雑入と
 して百二十万と見込みます。又七款の繰越金としまして
 百二十万と見込んであります。又八款の繰越金としまして
 百二十万と見込んであります。次に本会について申し上げます。

一、款の総務費で九百五十万四千円、二、款は総務管理費とし
 て職員給与費、事務費、運賃協賛金、連合会に充てる
 負担金等と七百三十二万四千円、三、款は、そのうち保険料の徴収を
 人合に委託してございまして、そのための経費が百九十三万
 とはつてあります。又二款の保険料は費といふよりも一億
 二千五百五十万四千円は、医療費の七割分と連合会に審査



七、委託してあります。その審査の手数料で合せて一
 億三千三百二十万四千円とほつてあります。助産費は、お産
 にあつてお祝いが一件一万円で、百九十二件と見込みます。

八、款は、先きほど二議決いたしました条件改正にありまして、
 二、四万と、また育児手当として一件二万五千と三十八万四千
 円と見込んでございしております。又三款の借費は一時
 借入金の利子で九万、又四款の諸支本会金三万は、国
 等の補助金の還付金、おた場合の準備金と保険料、還
 付金の準備金とございしております。又五款の予備費といふに
 一、百五十万と見込みます。又六款の計を一億
 三千三百九十四万四千円と見込んでございしております。

以上簡單でございしますが、昭和四十四年度の国保会計の概
 略を申し上げておきます。よろしくご審議のうえ、原案
 によりご決下さるようお願い申し上げます。



○議長(名川信義君) 十九番 若田博君

十九番(若田博君) 用いましてと影山理事長ですが、自分の
所は解散させたい、今までも中村さんが帰入会をやってたに
すが、今ついに指導者が自分の所を解散させたい
の会を返すその会長におつまつて、さういふ会にカマして
ですか。

○議長(名川信義君) 佐々木課長 乙津泉吉君

佐々木課長(乙津泉吉君) 個人の方が出たりめども、影山さんの
ことにはさういふは、私にたいしては永田支部と、立場で
さういふことを聞いておりました。

○十九番(若田博君) さへはサのほはいいないか、さへはおかしく
はいか、さへはあんなですか。―― さへは無責任は支那と

佐々木課長(乙津泉吉君) 一は支部があると思つておりましたが、婦
人会を通じてお願いしてあります。さへは婦人会の方から若
手の方はそこをおろしと思っております。

○議長(名川信義君) 以て質疑を終ります。

おほかりに。議長サ二十七号は厚生委員会に
託し、詳細は審議を願うことにしたいと思っておりますが
二めに二議案についてお話しします。

○議長(名川信義君) 二議案はことわります。さうして議案サ二十七

号は厚生委員会に託することに決定いたしました。
なお委員会の審査報告は本定例会の会期中にお願い
いたします。

○議長(名川信義君) 日程サ二十六 議案サ三十八号昭和四十五年

福生町の益實屋ほかの会計予算を議題といたします。
本日は議案を省略したために提議理由の説明を省略します。
民生課長 若田 武君登壇

○民生課長(若田 武君) 二指右に示す。議案サ三十八号昭

議三十八
議三十九
議四十
議四十一
議四十二
議四十三
議四十四
議四十五
議四十六
議四十七
議四十八
議四十九
議五十



議三十九
議三十八
議三十七
議三十六
議三十五
議三十四
議三十三
議三十二
議三十一
議三十
議二十九
議二十八
議二十七
議二十六
議二十五
議二十四
議二十三
議二十二
議二十一
議二十
議十九
議十八
議十七
議十六
議十五
議十四
議十三
議十二
議十一
議十
議九
議八
議七
議六
議五
議四
議三
議二
議一

和四十九年度福生町の施設費、特別会計予算にのりて説明申しあげます。

本手は、 $200,000$ 円と定めます。取手度より約一、三半倍にのりてあります。

二頁をお用い願います。

まず、表の予算にのりて説明申しあげます。

一、款、事業収入、 $100,000$ 円。これは、利子収入、 $20,000$ 円、

貸付した場合の利息の収入、 $20,000$ 円、

に比べ、 10% の増にのりてあります。

越金、 $10,000$ 円。これは、手度からの繰越金を予定にのりて

こに、 $10,000$ 円の諸収入、 $20,000$ 円、

四十九年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

五十九年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

六十九年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

七十九年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

八十九年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

九十九年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇〇年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇一年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇二年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇三年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇四年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇五年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇六年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇七年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇八年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一〇九年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

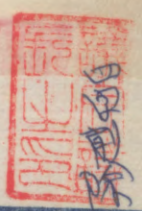
一一〇年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一一一年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一一二年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一一三年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、

一一四年度、 $10,000$ 円、 $10,000$ 円、



福生町議会

議長(石川信義君) 以上、提案理由の説明は終了です。

二、より本議にのりて、質疑をいたします。

(要議) 三、より本議にのりて、質疑をいたします。

議長(石川信義君) 以上、質疑を終ります。

おは、かりに、三、より本議にのりて、質疑をいたします。

に、審査をのりて、三、より本議にのりて、質疑をいたします。

と、思いますが、二、より本議にのりて、質疑をいたします。

議長(石川信義君) 二、より本議にのりて、質疑をいたします。

号は、厚生委員会にのりて、三、より本議にのりて、質疑をいたします。

なお、本委員会の審査報告は、本定例会の会期中に、お願ひ

議三十九
議三十八
議三十七
議三十六
議三十五
議三十四
議三十三
議三十二
議三十一
議三十
議二十九
議二十八
議二十七
議二十六
議二十五
議二十四
議二十三
議二十二
議二十一
議二十
議十九
議十八
議十七
議十六
議十五
議十四
議十三
議十二
議十一
議十
議九
議八
議七
議六
議五
議四
議三
議二
議一

にたいします。

議長(及び信義君)

日程ヤニテ七議案ヤニテ九号昭和四十年年度
福生町福生町市計画福生ニ地区画整理事業特別合計

予算を議題といたします。

本日は朗読と省略に

ためます。

土木課長兼

都市計画課長補佐

浅見格康君

土木課長兼

都市計画課長補佐

浅見格康君

二指をいたした

土木課長兼都市計画課長補佐(浅見格康君)は議員各位の格別なご理解とご支援によりまして、加美平地区を除き一応順調に進展をみております。武蔵野台地区は本年度をもちつゝ完了のほこびとほつております。

土木課長兼都市計画課長補佐(浅見格康君)は議員各位の格別なご理解とご支援によりまして、加美平地区を除き一応順調に進展をみております。武蔵野台地区は本年度をもちつゝ完了のほこびとほつております。

土木課長兼都市計画課長補佐(浅見格康君)は議員各位の格別なご理解とご支援によりまして、加美平地区を除き一応順調に進展をみております。武蔵野台地区は本年度をもちつゝ完了のほこびとほつております。

二頁のヤ一表ヲ入ヲ本予算につぎまうご説明申しあげます。

ヤ入のヤ一表分現金および負債現金、地元負債現金とて四千五百廿三万三千四百三十三円とあります。

ヤ二表の繰入金で二つは一般公債からの繰入金で二つは、二つは四千円、ヤ三表繰越金が百円、見込であります。

ヤ四表の諸収入といたします。預金利子一万円、合計千六百廿四万三千四百三十三円とあります。

ヤ五表の繰入金で二つは、ヤ一表の繰越金にのりつて、事務管理費、二つは人件費を主体といたします。

ヤ六表の事業費が加美平の事業費といたします。後継補償費二千円を主体とて二千六百

円、多摩河原の事業費といたします。社入の事業費を

託料、ヤ七表の補償費が、百七十九万一千円等を主体と

いたします。計千九百四十六万四千円とほつてあります。



オ三款の予備費は百廿二万二千円は、二倍を加えまして、
 本合計が千六百廿四万三千円となるわけでありました。
 商庫が二百五十万が以て説明を終らせました。
 ようして二層議のうえに決まらんことをお願い申し上げ
 する説明にかえつてまいりました。

○議長(石川信義君) 以上で提議理由の説明は終了しました。

二の三の本業に於ける質疑を終わります。

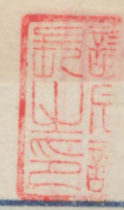
○議長(石川信義君) 以上で質疑を終ります。

おはかりいたします。議案が二十九号は建設委員会
 に付託し詳細な層議を願うことにいたしましたと思っておりますが
 これに二層議をしないかと。

(要議はしと呼ぶ者あり)

○議長(石川信義君) 二層議はしと認めます。さうして議案が三十

九号は建設委員会に付託するに決定いたしました。
 ほか委員会の層議報告は本定例会の会期中にお願い



いたします。

○議長(石川信義君) 日程が二十八、議案が三十号、昭和四十四年度

福生町と商庫特別会計予算と議題といたします。

本業は朗読を省略し、ただちに提議理由の説明を求め

ます。

○議長(石川信義君) 以上で提議理由の説明は終了しました。

十号昭和四十四年度福生町と商庫特別会計予算について

本と商庫特別会計の予算を併せてとるには、と後毎の積算が
 一番問題となるわけでございますが、毎年と後毎が下決定で

いふと、社会情勢の変動、経内価格の変動、追加の増
 の都市化にともなう変動等がございまして、着く毎年変動
 する現状でございます。本年の財源といたしまして、昨年の財
 源に比し約一割を減少いたしております。予算を編成いたした

議三十三
議三十三
議三十三
議一

[illegible]

まだ二頁の
カ一表ヲ入
カ五ヲ入
予算の
カ入に
フ
フ
説明申し
あげます。

[illegible][illegible]

福生町議会

次めと又入で申しあげたに
 一ニめほと高場旗手無料
 二二めほと高場旗手無料
 三三めほと高場旗手無料
 四四めほと高場旗手無料
 五五めほと高場旗手無料
 六六めほと高場旗手無料
 七七めほと高場旗手無料
 八八めほと高場旗手無料
 九九めほと高場旗手無料
 一〇〇めほと高場旗手無料

三、百、九、十、四、万、千、百、と、ほ、ろ、や、り、で、あ、り、て、す。
 貴、で、百、十、二、万、三、千、百、を、計、上、し、て、オ、ル、合、計、と、い、た、し、す、と、は、三、
 と、し、と、百、十、二、万、三、千、百、を、計、上、し、て、あ、り、て、す。オ、ル、三、款、の、予、備、
 債、の、償、還、で、二、百、一、十、万、を、元、金、と、利、子、等、で、四、十、二、千、手、使、償、還、分、
 計、上、し、て、あ、り、て、す。オ、ル、二、款、の、償、費、で、二、百、一、十、万、が、二、い、は、起、
 ず、て、お、お、へ、十、万、三、千、百、と、の、二、款、費、等、で、二、百、一、十、万、三、千、百、と、

以工商卑之
 子バ
 龍明にかえ
 せ
 いた
 ます
 何とぞ海軍
 審議をいた
 した
 ます
 二
 決
 した
 ます
 う

議長（石川信義君）
以て提議理由の説明は終了す
に。

二つあり本無に
なる。竹葉
を付
け、
す。

○九番下野行天君

九頁の工事請負費二百五十元が二百五十元が

二の工事の内容を説明願へ！

○議長(石川信義君) 佐業課長 日田和雄君

○佐業課長(日田和雄君) この二百〇四号は現に都の検査所より指

摘されたものあり、その流る槽とか、さういふものをくめい

うことになつております。そのほか工事すべし場所を現に

場の中に備金の一割工事カヤうはりいばはうはく場所もあり

ますので二百〇四号は可なりいたしております。

○議長(石川信義君) 九番 下野行天君

○九番(下野行天君) さういふすと業者が簡単にパイプを建ててお

ります。業者が建てたものについてどういふ解を得たのか

あるいは一軍へ入つたのか、いふ有地に一つの建物を造

ることは普通でさういふことで、今後と場移転の場合にその

建物が一つの争ひの点にもなり、その点についてどう考へるのか

○議長(石川信義君) 佐業課長 日田和雄君

○佐業課長(日田和雄君) 前にも申しあげた通り、建設を造つ

た一般の建設委員会におきましては指摘をします。建物と造つ

たことに新しく多摩食から業者が参ります。その地盤とさ

造つたわけですが、契約書もごういふません。先般建設委員

会にも指摘をします。さういふ業者と逢います。その及負と

逢います。お話を聞いてあげます。たか、そのときとあの建物は無

償、そのときの話でござい、いふます。が、償を果はするといふ話し

かすんでおります。又書面でもおたからうございふます。

○議長(石川信義君) 以て質疑を終ります。

○おはかりした。議案カ三十三号は建設委員会に

託し詳細な審議を願うことにいたし、たいと思ひます。が二めに二

番議案ごういふません。

○議長(石川信義君) 二番議案はこつと認めます。

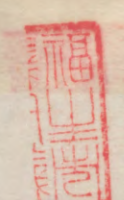
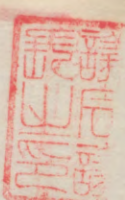
○議長(石川信義君) 二番議案はこつと認めます。さういふ議案カ三十三号

は建設委員会には託することに決定いたしております。

は、お委員会の報告は本定例会の会期中にお願いた

します。

○議長(石川信義君) 二番議案はこつと認めます。



木蘭

用議

休養に与つて
統と合議を
用ひてす。

孟子下
王道課
孟子
生
子
國
利
是

水道課長 生子 国利 長登 壇

水道課長(生子国利君) 昭和四丁年 度 福生 所 水道事業 公
討算に つき 龍明 申 出 子 下

水道事業会計予算は、地方官公営企業法の規定により、
その事業年度の毎年度における業務の予定量と、二
ヶ月に開する収入および支出の卜算を定め、その中で、い
る、その点、他の官公庁予算といたし、その限り、既に
豫定額率的使用するたために、その規則に重点が、あかめ

福生町議会

このように、企業予算に於いては、企業の増減の運賃

予算書の1頁で、
カーネーションは、
総則でございまして、
そのカーネーション

の予算に「三」は「四」期擴張事業における三年目の建設事業費と「四」年度の業務活動の基本的目標とし

の予定量でつくす下。
三条は企業の厚生年度の計画

るべきの費用であり、その収支に於ては、総額一億三千

リ子下。
又、
総額に
なして
約
七〇。
示こる
おり子
下。

ト見込ミ耐工にシ
不ヤでふい子下
又本につますマ

[illegible]

の三千八百九十万四千八百九十九万九千九百九十九
の三千八百九十万四千八百九十九万九千九百九十九

利貸に
三子百
廿六万
二子の
三七、
二〇で

いすく
減価却費といふ
二千二百三十三万二千四百